

第3回香取市総合計画審議会及び 第3回香取市まち・ひと・しごと創生推進会議 議事概要

開催日時： 令和4年10月26日(水) 午後2時から午後3時40分

開催場所： 香取市役所 5階大会議室

出席者： 16人

<委員>

伊藤寛委員、飯名眞己委員、上村進委員、鵜澤広司委員、
内堀寿美男委員(代理:田所百年裕氏)、大川裕志委員、實川美香委員、嶋田隆委員、
鈴木恵子委員、関謙次郎委員、田山歩委員、堂下浩委員、橋本富清委員、林英恵委員、
宮國健委員、山之内俊雄委員

<事務局>

経営企画部 宮崎部長
企画政策課 小林課長、堀越班長、浮嶋主査、平山主査、金田主任主事

報 告：かとりみらい会議(ワークショップ)結果について(資料1)

議 事：総合計画(案)について(資料2)
第3編後期基本計画
第4章重点プロジェクトから第5章施策内容まで

その他：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について(資料3・4)

配付資料：資料1 かとりみらい会議実施報告書
資料2 第2次香取市総合計画後期基本計画(2023～2027年度)(案)【抜粋版】
資料3 令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業
資料4 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業

議事内容：

- 1 開会 企画政策課政策班長 堀越
- 2 会長挨拶 香取市総合計画審議会及び香取市まち・ひと・しごと創生推進会議
会長 堂下 浩

3 報告

・かとりみらい会議（ワークショップ）結果について（資料1）

資料1(かとりみらい会議実施報告書)について事務局から説明。

報告について質疑応答

【議長 発言要旨】

かとりみらい会議報告書を確認すると、空き家・空き地を活用する動きや SNS の普及、シティプロモーションの必要性などの意見があり、前回にはない内容であると感じている。

【飯名委員 発言要旨】

空き地・空き家の問題には、他市と比較しても、香取市は宅建業協会とかなり密に連絡を取っていると感じている。例えば、古い物件で入居者が決まらないときに、宅建業協会で一度買い取り、綺麗に住める状態にして入居者を募ることができている。これは他市ではあまり例のないことだと考えている。また、現状として物件が出てこない状態にあるが、この点についても、市のアンケートなどを見ると、少しずつこれらの取組が認知されていると感じており、今後少しずつ物件も出てくるものと考えている。宅建業協会としても役に立てるものと考えている。

4 議事

総合計画後期基本計画(案)について(資料2)

資料2(第2次香取市総合計画後期基本計画(2023～2027年度) (案)【抜粋版】)に基づき、第3編第4章の重点プロジェクト及び第5章の施策内容について、事務局から説明。

議事について質疑応答

【橋本委員 発言要旨】

「大綱2生活・環境の向上、2-1環境保護・省エネ施策」の「小施策(3)電気事業」について、香取市が行っている太陽光発電事業に関して、供給量のデータや売電収入等の数値も織り込んで記載するとより明確になると考えている。また、「大綱5都市基盤の整備」、「5-3住宅環境」「小施策(2)空き家対策」について、空き家対策は、今後、香取市として本腰を入れて対応すべき課題と感じており、こちらも説明を載せるのみではなく、香取市の今抱える空き家の数や空き家率、市の行った代執行など空き家解消率の実績を掲載してはどうか。

【事務局 回答要旨】

売電収入を施策の成果指標とすることについて、担当課と協議し修正を検討する。空き家に関

連する指標は、成果指標をどこまで掲載するかという点も考慮する必要があるため、担当課と協議し修正を検討する。

【議長 発言要旨】

売電収入は算定が難しく、電力会社などへの売却は低い値段となるが、SDGs に取り組む民間企業等へ売却すると高い値段になることもある。掲載する場合には、単純に量ではなく質的な部分での説明を入れることを検討する必要がある。

【橋本委員 発言要旨】

「大綱3 健康・福祉の充実」の「3-3 高齢者の生きがい」の「小施策(2)生活・就労支援」について、現在、高齢者の通院のタクシー券は発行されていると認識しているが、高齢者の足としては、まだまだ不十分という現場の意見がある。「大綱5 都市基盤の整備」の「5-5 公共交通」の「小施策(2)循環バス・乗合タクシー」は、総合戦略に記載されているが、「小施策(2)生活・就労支援」は、総合戦略に記載されていない。両者は同じことだと考えているので、両者とも総合戦略として記載すべきではないか。また、合わせて買い物難民の問題もあるので、その支援も考慮する必要があるのではないかと。

また、施策体系を見てみると、子どもや高齢者、障がい者しか見当たらない。高齢者の枠だと限定的になってしまうので、中高年と幅を広げるのはどうか。なぜなら、40歳～60歳の層がしっかりしないと子どもや高齢者を支えられなくなるからで、この年代の層に問題がないわけではなく、例えば、引きこもりや8050問題等の問題を抱えており、これらの問題に対応する施策を入れるため、高齢者のみではなく中高年と幅を持たせて考えている必要があるのではないかと。具体的には、子育て世代のみが利用できる公園ではなく、中高年が集える、中高年が楽しめる公園やカフェ、たまり場のような場所を作り、地域コミュニケーションの場を創出してはどうかと思う。

【事務局 回答要旨】

健康・福祉については、高齢者医療確保法では対象の年齢が40歳からになる。実際には40歳以上の健康づくりの施策や体を動かす施策は健康・保健、生涯学習、生涯教育の分野で取り組んでいるので、3-3生きがいつくりの施策としてこれらの取組に関する記載を追加することを検討する。また、中高年の公園利用についても、取組の充実を検討する。

【田山委員 発言要旨】

前回の審議会で述べたライドシェアに関して、ライドシェアは法令部分で運用が難しいところがあると認識している。そのため、市の条例等の関係もあるが、実証実験という形でモデルケースとなるようなものが実現できれば良いと考えている。

【議長 発言要旨】

ハードルは高いが、規制のサンドボックスと呼ばれるようなものを導入しながら、取り組むことを検討してほしい。特に公共交通機関のサービスが行き届かない利根川よりも茨城県寄りの地域や

栗源地域といったところで、ライドシェアのような公共交通機関を補完するような取組が必要になるのではないかと。

【橋本委員 発言要旨】

広報に関して、前回も話した肝心な所、市民が知りたい情報が掲載されていない。前回話した子ども園の問題や、市民の関心の高い産婦人科誘致の件などについて、市民が市政を知る手掛かりとなる市ホームページ内に記載が無い状態である。十分情報を取り上げてホームページに記載してほしい。

また、「大綱6市民参画・行政の取組」の「6-5広報・広聴」に関して、内容を確認すると、ソーシャルメディアの活用に触れられているが、まずは、市ホームページの刷新から取り掛かってほしい。

【事務局 回答要旨】

ホームページの改善・改修、全面的な見直しの必要性については各方面から指摘を受けている状態であり、すぐに改善を図る。

【議長 発言要旨】

香取市の特徴を活かしたホームページの掲載方法や SNS の活用方法について、工夫して進めてほしい。また、香取市では観光情報の発信が必要になるので、是非この点を工夫してほしい。

【田山委員 発言要旨】

「1-4観光」の「小施策(1)観光振興」の現状と課題の⑥には「香取市は首都圏から日帰り圏内にあることから、滞在時間が短いため、より長い時間、香取市に滞在してもらう取組が必要」との記載があり、その上で、取組方針の⑥において具体的な取組を記載していると認識しているが、どのような団体が、どの管轄部署と、どのように進めていくのか、現段階で見えているところがあれば、教えてほしい。

【事務局 回答要旨】

滞在時間を長くすることは、これまでも宿泊施設の誘致事業、夜間のイベント事業等を行っていたが、新型コロナウイルス感染症以降、このような事業を進めることができていない。ただ、農業、商業、観光の各分野で連携しながら取組を進めるのが、一番理想的な姿と考えており、各分野の団体との連携を図りながら今後の事業展開を検討していく。後期基本計画の対象期間では、関連団体や民間企業と連携し関係を作り、体制を整え、事業を展開していく。

また、近隣自治体との連携という面で、水郷三都や三社巡りなどで、香取市、茨城県潮来市、茨城県鹿嶋市、茨城県神栖市の4市で連携しており、三社巡りでは相川七瀬さんを大使として観光PRを進めている。

【飯名委員 発言要旨】

「大綱5都市基盤の整備」の「5-1都市計画・土地利用」の「小施策(1)都市計画」に取組方針②宅地開発許可による良好な宅地水準の確保という取組では、開発行為による指導の継続と記

載されている。たとえば、農家や高齢者が土地の売買を検討する際に、検討している土地が田畑等で面積の広い土地であった場合、土地の売買に開発行為の制限がかかり、円滑な土地売買ができないことがある。開発行為については宅建業協会と市で相談し、柔軟な対応ができないか検討してほしい。

【事務局 回答要旨】

開発行為に関する制限は、適正な開発を推進していく観点から制限はかかってしまうものと考えている。ただし、住宅の造成も必要なことと認識しており、5-3住宅環境の小施策(4)宅地造成で関連する取組を記載している。

【橋本委員 発言要旨】

再度の確認になるが、「3-3高齢者の生きがい」の「小施策(2)生活・就労支援」と、「5-5公共交通」の「小施策(2)循環バス・乗合タクシー」について、これからどのように対応していくのか、どういうプランがあるのか。

【事務局 回答要旨】

「3-3高齢者の生きがい」施策については、40歳以上を含めて生涯学習・生涯スポーツの視点を入れながら生きがい対策の拡充を行うことを検討する。

「5-5公共交通」については、公共交通では賄えないところに対して、福祉施策や市民団体等の活動の延長線上として、移送サービスの提供を支援することを考えている。

【嶋田委員 発言要旨】

「3-3高齢者の生きがい」施策に関連して、買い物難民への対策として移動スーパーやネットスーパーに対する市の考えを教えてください。

【事務局 回答要旨】

香取市においても民間事業者による移動スーパーや配達サービスが提供されている。現在のところ市として積極的に事業展開していく計画はない。

【議長 発言要旨】

重点プロジェクトでは(6)時代の変化に対応した地域の創造プロジェクトに関連する。スモールスタートできるようなプラットフォームを支援し、買い物難民対策を講じることも必要と考える。

⇒今回の意見等を踏まえ引き続き検討

5 その他

新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金事業について(資料3・4)

資料3、4に基づいて事務局より説明。

交付金を活用して実施した事業については、事業終了後に実施状況及び効果を検証し、公

表すよう求められていることから、令和3年度実施事業について効果検証を実施。
また、令和4年度実施事業についても説明。

その他について質疑応答

【宮國委員 発言要旨】

昨年度行った中小企業継続支援金等の支援事業では、市のホームページを閲覧していない市民も多く、市民の支援事業の認知度も低かった。本年度も物価対策で支援事業を実施するものと考えているが、ホームページや広報のみでは、本年度も認知度が低くなってしまわないか。

【事務局 回答要旨】

市から事業者への情報提供の基本はホームページと広報と考えている。コロナ対策の交付金では臨時広報を発行したり、中小企業者への支援事業については、商工会議所・商工会に協力を仰いだりして、執行率も比較的高くなったとの認識である。

コロナ対策の支援は、市の支援事業のほか、国や国の外部機関からの支援などもあり、複数の支援事業が重なったことにより認知度が低くなってしまった面もあるかと考えている。市として支援事業の周知の努力はしたものの、行き届いていない部分もあるので、その点反省すべきものとする。

今後は、関係団体等にも協力を依頼しながらより広く周知できるように進めていきたい。

【伊藤委員 発言要旨】

農業では、皆さんご承知のとおり、資材、肥料が高騰している。各農家においては、高度化成等の化学肥料の代替として家畜の糞尿やぬかなどを利用するなど工夫している。

また、高齢化・後継者問題により荒廃農地が非常に増加している。本来、農地は農業で活用すべきとは思いますが、農地の転用も含めて農地をいかに活用するかが今後の真の課題であると考えている。

【事務局 回答要旨】

後期基本計画で、農業の課題に対して前期基本計画よりも踏み込んだ内容を記載している。農業経営の問題、後継者の問題、土地改良の問題等に対してどのように市として考えていくかという観点から、具体的な取組を後期基本計画の中で記載している。

また、森林環境譲与税について、後期基本計画の期間内にどのように活用するかという点も後期基本計画の中で記載している。

【橋本委員 発言要旨】

令和4年度のコロナ交付金事業の施策は、子育てや観光が中心となっているが、高齢者の介護施設等は対象とならないのか。

【事務局 回答要旨】

今回の報告は9月議会までの交付金事業を対象としており、その中には高齢者向けの支援は含まれていない。ただし、電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金活用事業には高齢者施設や介護サービス事業支援、障がい福祉サービスの事業支援などを盛り込んでおり、予算案として現在12月議会に上程しているところである。

【議長 発言要旨】

令和4年度の予算事業の中のNo6の公園施設整備事業は、どのような意味合いで今年度上がってきたのか、具体的にどういう事業なのか。

【事務局 回答要旨】

公園施設整備事業は、令和3年度までの従来の交付金に関連するもので、市内の4つの公園で子ども向けの遊具を設置する事業であり、現在、執行中である。また、令和3年度の交付金事業として、高齢者等、市民の方の健康増進を図るため市内の4つの公園に対して健康増進器具を設置している。

6 閉会

以下、事務局の司会進行により、閉会。

以上